

全電源喪失を想定した夜間避難訓練

東日本大震災で被災した岩手県山田町に於ける実証実験

東日本大震災で津波被害にあった岩手県山田町の大浦漁港周辺にて、夜間、地震により全電源が喪失した中で、津波に対する避難が可能であるか否かの実証実験が行われます。

現在、大浦地区では、全国に先駆けてJIS Z 9097(津波避難誘導標識システム)に基づいた津波避難路の整備が進められており、このJIS規格に沿った被災地での夜間避難訓練は初めての試みとなります。

<実験概要>

□実験日時

平成27年6月12日 18:00～20:00

□実験場所

岩手県下閉伊郡山田町大浦地区
(大浦漁港～山田町立大浦小学校)

□予定参加者

お年寄りや子供を含む大浦地区の住民100名以上

□主催

公益社団法人 土木学会地震工学委員会
「突発災害時における避難誘導に関する調査研究小委員会」

□共催

山田町(予定)
一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所



高知県黒潮町で行われた実証実験の様子



実証実験開催予定箇所



津波避難誘導標識

<連絡先>

公益社団法人 土木学会地震工学委員
「突発災害時における避難誘導に関する調査研究小委員会」
委員長 大野春雄